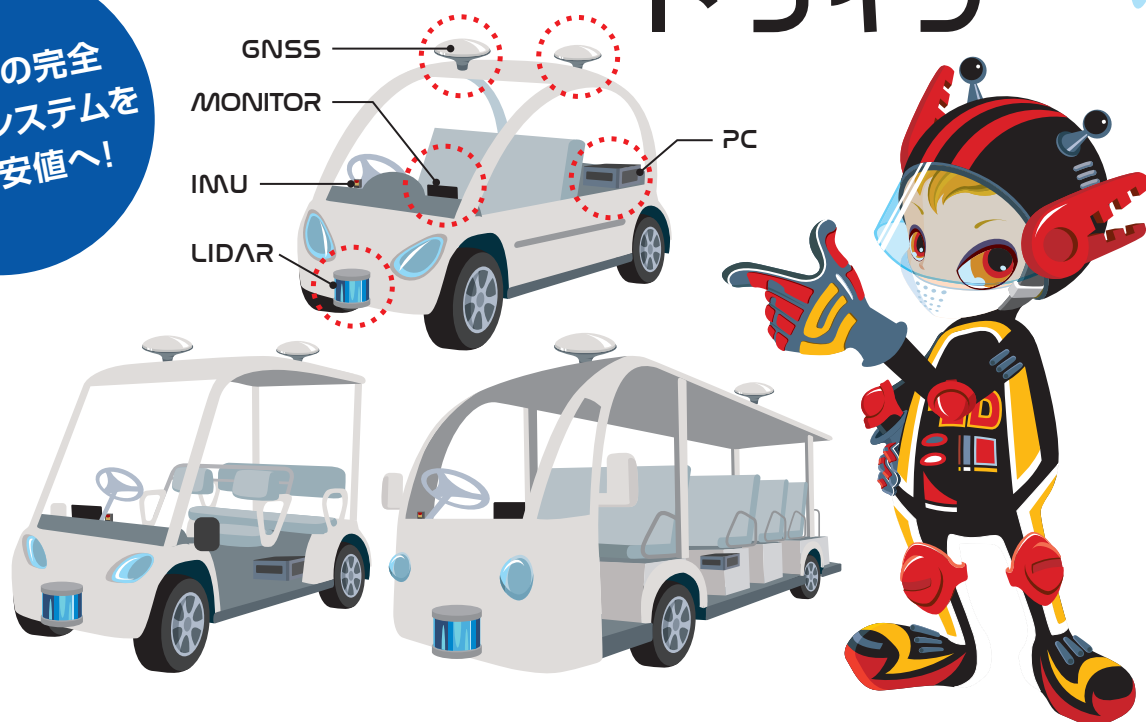


自動運転システム YADOCAR-i ドライブ

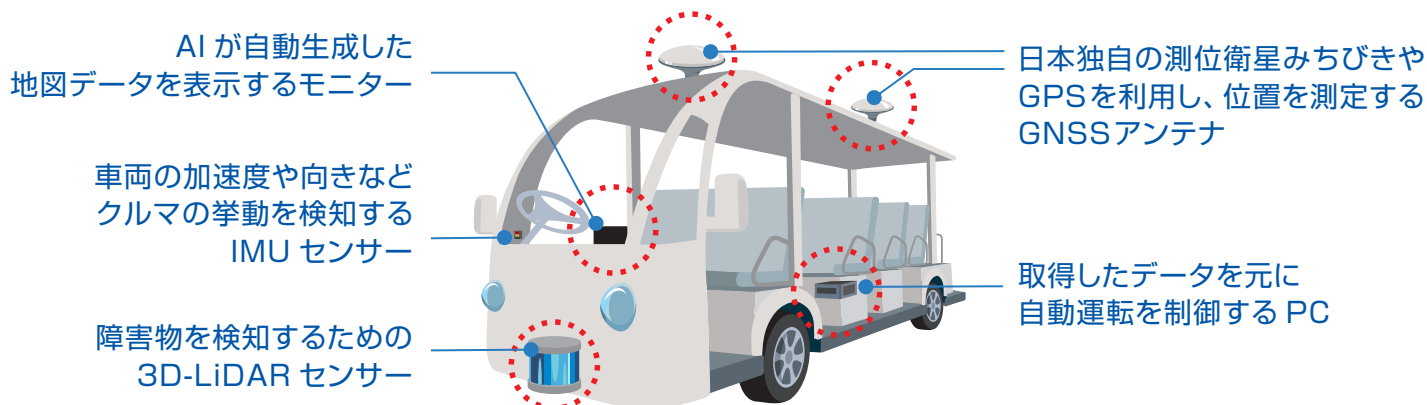
レベル4の完全
自動運転システムを
市場最安値へ!



後のせ自動運転システム

～スマートシティを実現する最新技術～

二人乗りのマイクロEVから8人乗りのマイクロバスなど、
手軽に自動運転へと変えられる「後のせ自動運転システム」
既存社に簡単に組み込めるように設計されています。



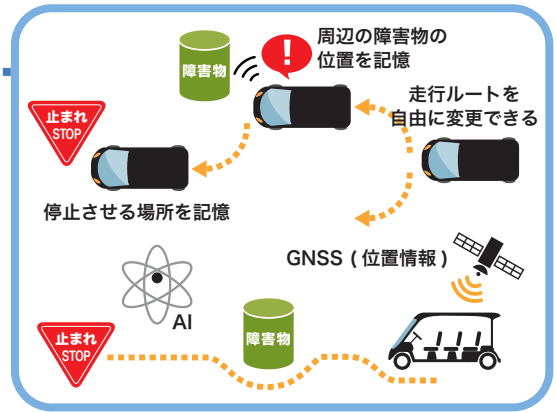
20km/hの速度での走行と、予め指定されたルートに限定しているため、
安全な自動運転システムです。

走行ルートを変更される

道路に電磁誘導線を埋設する自動運転と異なり、走行ルートの変更が容易にできます。

走行ルートの設定のためにドライバーが運転を数回繰り返し、AI 学習により地図データを生成します。

また、周辺の障害物や、一時停止が必要な場所も記録していきます。また、高精度三次元マップも使用しないため、自動運転のための特別な整備が不要で、導入までの期間は 7 日～10 日程度で行えます。

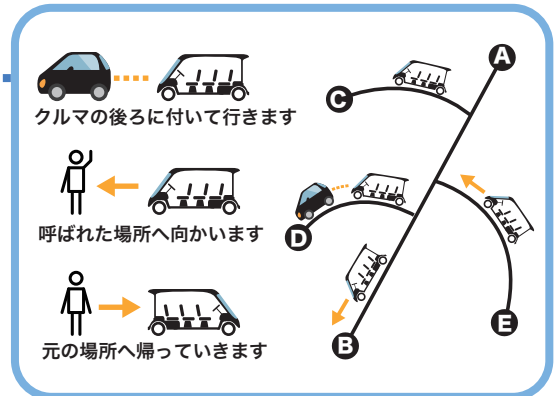


ついてくる、やってくる、かえっていく

様々な自治体の交通網や、施設での大きな課題はドライバー不足です。例えば、まずは人の輸送には人間が運転をして、YADOCAR-i には荷物を運ばせます。

そんな時に YADOCAR-i のゆっくり低速走行は、荷物を丁寧に運んだり、多くの荷物をワンオペで行う作業に適しています。

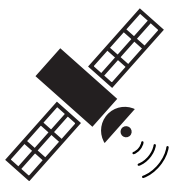
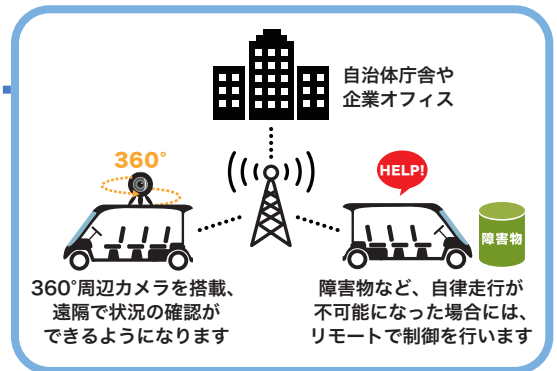
人の運転する車を追尾して、荷物を下ろしたら自分で車庫に帰って行ったり、足りない重たい荷物を取りに行きます。これまで 2 人以上で行っていた作業をワンオペに変える工夫ができます。



遠隔リモートで状況確認や制御ができる

オペレーターを乗車させない場合、車両がどこにいるのかは、みちびき GPS(QZSS) で 超高精度に把握できます。

また 360 度の状況をリアルタイムカメラ映像で中継する事もできます。障害物を回避できず、自動走行が不可能になった場合には、遠隔リモートで車両を制御する事が可能になります。



準天頂衛星「みちびき」の高精度測位技術

GPS を補い、より高精度で安定した衛星測位サービスを実現



人工衛星の測位による位置情報と、周辺の状況を把握する LiDAR により、走行しながら地図データを AI が自動生成していきます。



自動運転システム YADOCAR-i ドライブ

- 過疎化が進む地方都市での活性化のための移動手段として
- 荷物を運ぶ手段として
- 広大な宿泊施設の移動手段として
- 観光スポットをめぐる移動手段として
- 広告宣伝カーとして

さまざまなシーンに活用できる
安価な自動運転システムです

